

演劇空間「スペースベン」

見つめ直したい文化

〈文／スペースベン代表・田中勉〉

平成八年九月十五日(日)の総合フエスティバルを皮切りに、第六回県民文化祭が三八地区を中心に行われる。

県民文化祭の開会式でもある総合フエスティバルは二部構成からなる。一部の式典には、八戸市内で合唱部をもつほとんどの小中学校の合唱部員が参加し、総勢約三百名の子供達が舞台を埋め尽くす。舞台上につくられた装置にも一見の価値がありそうだ。その他分野別の公演をする各団体の紹介等も行われる。二部は交歓会として、あるテーマを基に洋舞・日舞・えんぶり・陣太鼓・三重唱等の発表が行われる。

「県民による創造的な芸術活動の成果を発表し、広く観賞の機会を提供することによって、芸術文化の創造と発展に寄与するとともに、豊かな県民性の高揚に資することを目的とする。」

という趣旨を掲げ行われる事業なのであるが、実は三年前にも八戸を中心に行われているのである。三八地区だけではない。平成三年度から、青森市・弘前市・八戸市を中心として毎年県レベルで行われている行事なのである。それを記憶されている方はどの位いるのであろうか?

というのは、発表の場を持つ各団体の関係者は、自分が関わる行事であるから知っているのは当然である。しかし、それと関わりのない一般の市民の方が、色々な公演が行われた中で、どれだけの公演に足を運ばれたのか? 盛り上がりに欠けたのは否めない事実ではないだろうか。

何も、県民文化祭を批判し否定しているわけではない。主催者である実行委員会の方々のご苦労は計り知れないものであるし、予算的にも厳しい状況の中で運営されている各団体の主宰者の方々には本当に頭が下がる思いである。私自身、事も起こさず批判だけしているよりは、失敗したとしても事を起こす方が好きなタイプである。だからこそ余計に成功してほしいし、次代に繋げたい。これを読んでいる方々にも「文化なんて関係ない」なんてうっちゃらずに、今一度「文化」というものを見つめ直していただきたいのである。極端な言い方をすれば、あなたが持っているものが文化なのですから。

一般の市民の方が、公園に足を運ぶように公演に足を運び、家庭に帰ってからは子供と学校であったことを話すように公演の感想を話し合う。そんな

状況は無理なのだろうか……。ネギが嫌いな人は、やはりずつとネギは食えないものなのであろうか。

ともかく、平成八年度の県民文化祭は三八地区で行われる。芸術文化でもいいし、生活文化でもいい。八戸市公会堂で行われる開会式を機に「文化」というものを見つめ直し、県民文化祭の更なる発展と盛り上がりを目指したい。

第六回県民文化祭 九月の予定

- 一、総合フエスティバル
九月十五日(日)
八戸市公会堂
- 二、第二十九回青森県人形まつり
九月二十三日(月)
六ヶ所村中央公民館
- 三、シンポジウム
九月二十五日(水)
十和田市民文化センター
- 四、第六回青森県吹奏楽トップコンサート
九月二十九日(日)
三沢市公会堂
- 五、第二十九回青森県吟剣詩舞道
十和田大会
九月二十九日(日)
十和田市民文化センター

六、謡曲と仕舞と狂言の会

九月二十九日(日)
八戸市公会堂

FANS 九月の予定

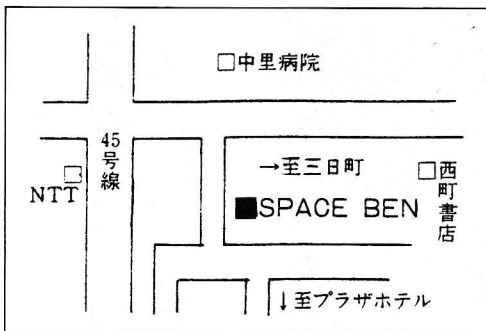
- 六日(金) (一三五回)
- 十三日(金) (一三六回)
- 二十日(金) (一三七回)
- 二十七日(金) (一三八回)

四週とも「ひま人 VOL9」となりますが、各週とも内容が少し変わります。

※全て開演時間午後七時三十分、料金／五〇〇円

〈問い合わせ〉

〒031 八戸市柏崎二一十一八
TEL&FAX 0178(43)9876



車のご来場はご遠慮下さい(近くに西町書店駐車場有)